

## 2019Japan National Team Report ”監督”

|       |                  |
|-------|------------------|
| 報告者氏名 | 服部佳苗             |
| 大会名   | 2019IODA北米選手権    |
| 開催地   | バハマ ナッソー         |
| 大会期間  | 2019年9月27日～10月3日 |

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA海外派遣担当岡田までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
  1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
  2. なるべく詳細に記入して下さい
  3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
  1. このレポートを補足する資料として必要です（文中に貼り付けて下さい）
  2. 他国OP艇を接近して撮影する際には、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい
- 帆走指示書のコピーを添えてください。

|                     |                                                                                                                                                                                                            |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 現地までの旅程             | 成田集合 → 米国・アトランタ乗り換え → バハマ・ナッソー → 大会手配バスで公式ホテルまで移動<br>夜の到着に関わらず、バハマチームのお母さんが空港に出迎えに来てくれました。暗い時間の到着でしたが、お陰で不安も軽減されました。                                                                                       |
| 旅行代理店               | 代理店は使わずに航空券は直接手配しました。<br>特に不便なことはありませんでした。                                                                                                                                                                 |
| 渡航費用                | 1人約18万                                                                                                                                                                                                     |
| エントリー料              | USD850                                                                                                                                                                                                     |
| 一人当たりの宿泊費用          | 選手3役はエントリーフィーに含まれます。<br>サポーターや事前宿泊の際の一泊は一人につきUSD50程度だったが、高級リゾートホテルで通常は一泊1人3万円程度～。 <u>大会関係者の特別が適用されたことは大変有難かったです。</u>                                                                                       |
| その他食料費              | 基本的には大会側が用意してくれた食事を食べました。3食の費用はエントリーフィーに含まれていました。それ以外で食事する際、カジュアルなレストランでハンバーガー12～15USD、カフェテリアのマフィン1個が5USD、スーパーのリンゴ1個が3USDなど、物価はとて高く、購入に躊躇することもありました。しかし品質は良く、味も食べやすく、スーパーの品揃えも十分で、結果的に食材や食事に困ることはありませんでした。 |
| チャーター料金             | USD200                                                                                                                                                                                                     |
| 大会本部の対応             | 実行委員長を始めとするあらゆる役員が女性で、とても女性のパワーを感じた大会でした。<br>アットホームで温かい、手作り感のある大会でした。皆さんとても親切で気さくだったので、些細な事でも相談しやすかったのはとても助かりました。                                                                                          |
| チームリーダーミーティングの様子、内容 | 今大会のチームリーダーの9割が女性でした。ミーティングもまたとても和やかで親しみやすい雰囲気、おしゃべりがはずむという感じでした。質問もしやすかったので、期間中は助け合ったり、情報交換をして過ごすことができました。                                                                                                |
| 選手達の様子で気がつけたこと      | 食事の摂取状況や食欲を把握し、適宜サポーターと協力して捕食を用意しました。<br>体力が落ちる前、食欲が落ちる前に、食べさせることを心掛けました。                                                                                                                                  |

|                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 食事はどうでしたか                | 豪華な料理ではなかったが、地域の方たちが作る手作りの食事がとても食べやすかったと思います。<br>果物は常に用意されていたが、野菜があまりなかったという印象です。選手たちは喜んで良く食べました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| セキュリティなどで気をつけたことはありましたか。 | ハーバー内は管理されていて、日本同等の感覚で過ごせました。常時親切な門番がいて、出入りを見守ってくれていました。救急車や応急処置ができる看護師も常駐していました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 荷物に関して工夫したこと             | 予備セイルを折りたたんで機内に持ち込みましたが、学校の制服の箱がちょうど良いサイズでしたので、制服の箱に入れて持参しました。広げた後に状態を確認したが、ダメージが少なかったと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 日本との通信状況、手段              | ライン連絡。レンタルWIFIをチームで3台持参したが、チーム内で写真のやりとりが多く、最終日までギガが残らなかったのが反省。ホテル、ハーバーもフリーWIFIが使えました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 他国チームとの国際交流の実施           | チームリーダーはwhat's appグループで連絡を取り合う。私も含め女性が多かったので、とても仲良くなって沢山話しました。また本遠征の日本チームの子ども達はとても明るく親しみやすい人柄で、他国チームとも積極的に仲良くなって大会全体を通して交流を楽しんでいたのが素晴らしいと思いました。                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 持参してよかった食品、医療品等          | アルファ化米<br>ポカリスエットなどの粉(水は十分に大会から提供された)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 次回参加者へアドバイス              | 必勝鉢巻きがとても人気でした。英語でのコミュニケーションが苦手な日本チームにとって、鉢巻きは最初の会話のきっかけとなる心強いグッズでした。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| JODAへの要望                 | もし可能ならば支給されるJODAユニフォームに選手のリクエストを反映した方が、今まで以上に出席が多くなると思います。ご検討いただければ幸いです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| その他                      | <p>公式掲示板は全てホームページの中、チームリーダーへの連絡は全てwhat's appということで、ハーバーに待機する必要が全くありませんでした。実際誰もいなくなってしまう状況だったので、私たち日本チームもハーバーに残らずに時間を有効に使うことができました。観覧艇に何度も乗って選手たちの頑張りをみるのができた事は良かったです。またサポーターの父母が捕食の買い出しや、お土産の買い出し、外食のレストランの下見などに行ってくださり、積極的にサポートしてくださったので、3人の役員もそれぞれの役務に集中することができたことが大変ありがたかったです。</p> <p>会場の雰囲気や大会の運営は和やかで温かいものでしたが、運営のゆるさが気になりました。特にレース成績の管理については残念なものでした。回航順位の記録や録画などがなく、フィニッシュ順位に納得のいかない成績がありました。最終的に選手を救ってあげられず、申し訳なかったです。</p> |

ご協力ありがとうございました  
JODA海外派遣委員会